

パネルディスカッション 第2部

未来社会デザインにおけるリモートセンシングへの期待

様々な分野における未来社会の設計の下、
リモートセンシング技術に期待する役割を議論し、
機関連携と新しい価値の創出を描く

パネリスト

公益財団法人イオン環境財団

ANAホールディングス株式会社

株式会社電通

東京海上ホールディングス株式会社

豊田市

山口県

山本 百合子 様

松本 紋子 様

松山 宏之 様

藤木 潤一郎 様

岡田 俊樹 様

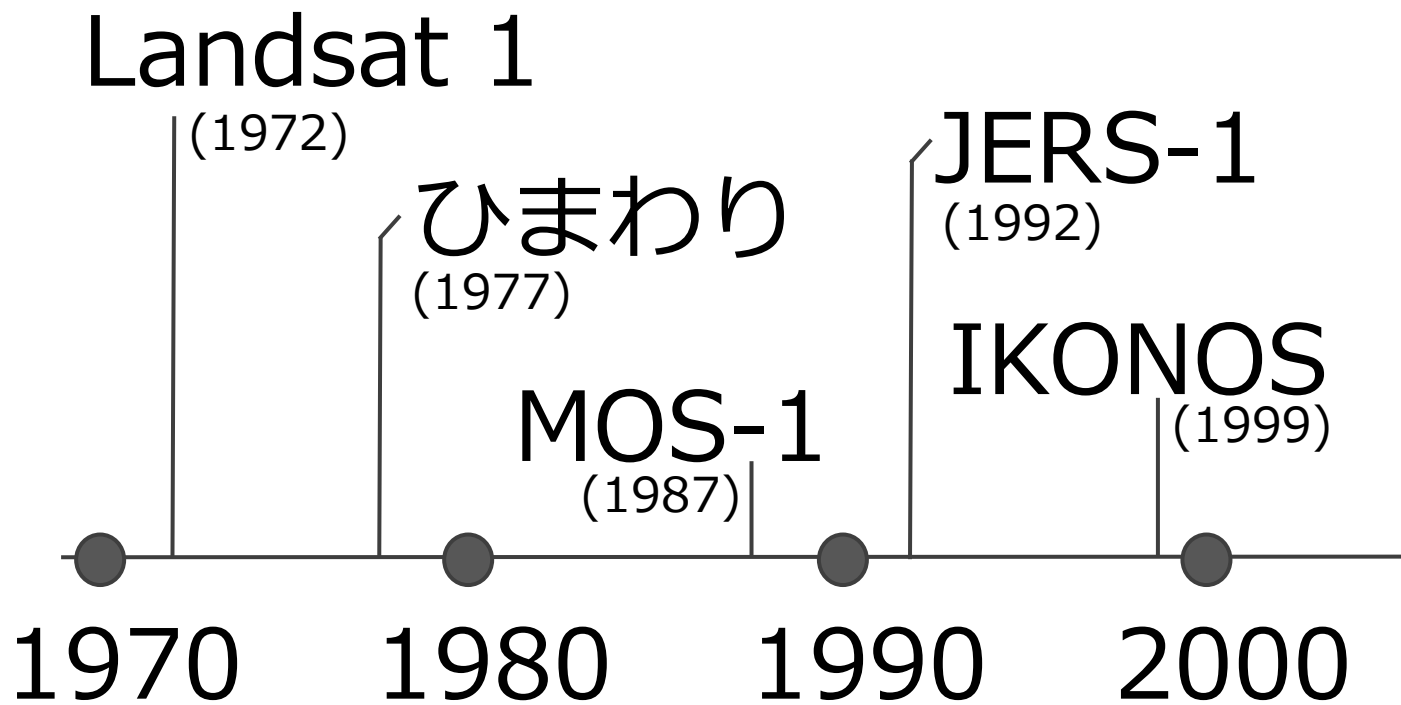
喜多 和隆 様

モデレーター ソリューション事業部 荒井頼子

人工衛星による地球観測の特徴

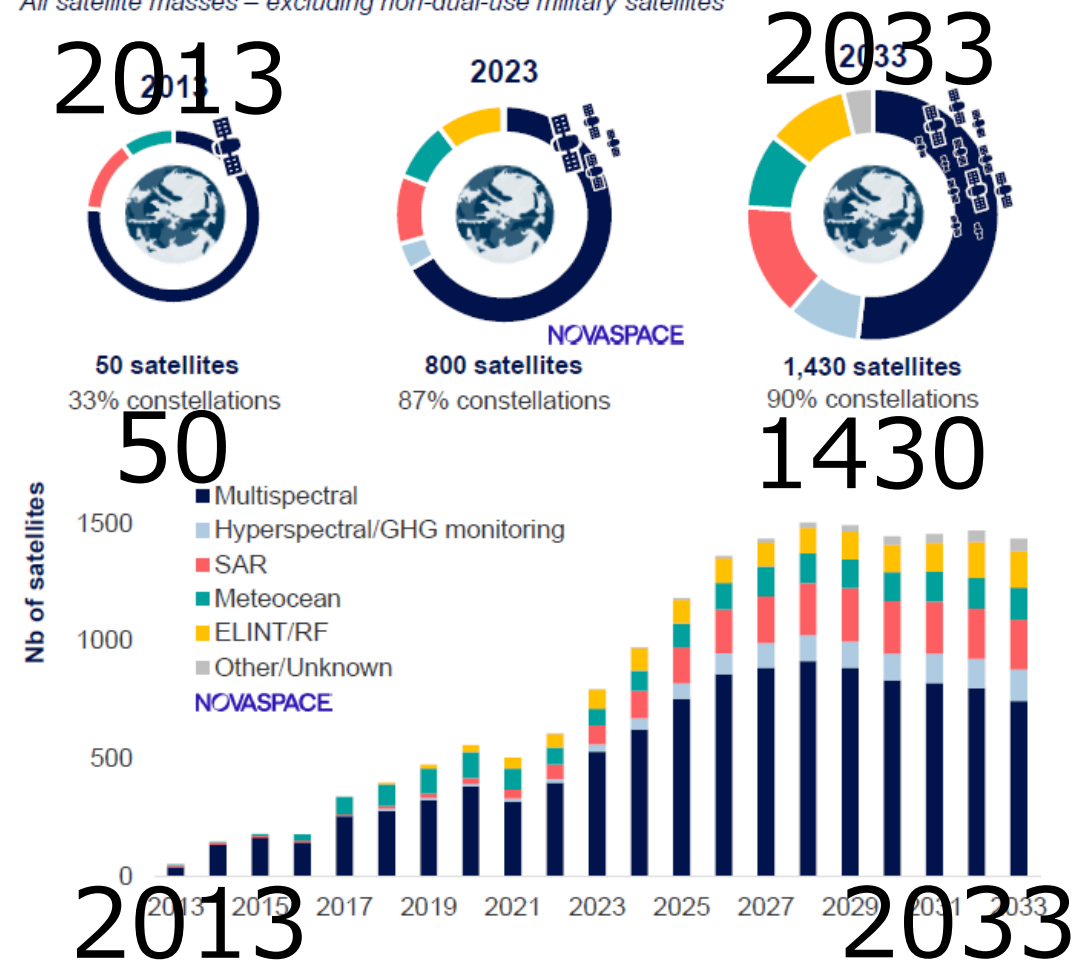
- ・ 広範囲を観測する
- ・ 人が立ち入れない場所も観測する
- ・ 定期的/継続的な運用が可能である
- ・ 多様なセンサを搭載する
- ・ データに客観性がある

地球観測衛星打ち上げの動向



Number of commercial EO satellites in operation

All satellite masses – excluding non-dual-use military satellites



*Includes satellites from private enterprises and governments with data available on a commercial basis. Excludes noncommercial satellites. Satellites in operation are based on reported/expected life spans.

NOVASPACE
Merger of Euroconsult Group and
SpaceTec Partners

EARTH OBSERVATION DATA & SERVICES MARKET [ORDER YOUR COPY ONLINE](#)

FREE EXTRACT

PARADIGM SHIFT: TOWARD RATIONALIZATION AND DIVERSIFICATION

商用地球観測衛星 センサ種類の動向

運用/
開発中

開発
計画

光学

多波長
熱赤外
GHG

SAR

Key new commercial EO constellation companies*



*excluding incumbent players

LEGEND:

North America

Europe

Asia

Other

■ リモートセンシング技術の進化は 未来社会に変革をもたらせるか

- 衛星観測に対して、さらに期待すること
- 2050年、衛星観測による情報はどのように利用されているか
- 未来社会はどのように変革しているか

■ 2050年、機関連携の下で新しい価値を創出する。 そのポイントは何か

■ リモートセンシング技術の進化は 未来社会に変革をもたらせるか

- 衛星観測に対して、さらに期待すること
- 2050年、衛星観測による情報はどのように利用されているか
- 未来社会はどのように変革しているか

■ 2050年、機関連携の下で新しい価値を創出する。 そのポイントは何か

山本(イオン環境財団)	松本(ANAHD)	松山(電通)	藤木(東京海上HD)	岡田(豊田市)	喜多(山口県)
衛星観測に対して、さらに期待すること					
気楽に気さくに 触れ合えるもので あってほしい。 地球環境を多面的 に守るツール	地上から上空まで の3次元情報	撮影頻度・解像度 の向上とリアルタ イム化	"観測・記録"から" 予測・判断・行動" へ進化	リアルタイムな 情報提供	事前防災
2050年、衛星観測の情報はどのように利用されているか					
世界の平和構築の ためリーディング している	Satellite & Aerial の融合、匂いなど 含む多様なデータ をデジタルツイン とリアルタイム同 期	生産・輸送・販 売・生活者に渡る 一連のデータが統 合化される中で、 当たり前のように 利用される	保険・防災・環 境・医療などあら ゆる分野に自然に 組み込まれ、人々 が意識せず利用し ている世界	地上インフラの 維持管理に必須	地震・噴火など 災害の予知
未来社会はどのように変革しているか					
生活圏が地表上で はなく空中になる、 自然（グリーンに ついて）	「移動」の完全自 動化：空・陸・海 全てのモビリティ が人手を介さず 安全かつ効率的に 運行される状況	旅行先、生産拠点 としての宇宙や衛 星のデータも活用 し（計算資源も宇 宙？）、高度な マーケティングが 実現	民間企業・自治体 等が共通基盤で連 携し、災害リスク の早期検知から物 理的対応・経済的 支援までを一体化	衛星がインフラに なっている	国民が安心して 暮らせる社会

■ リモートセンシング技術の進化は 未来社会に変革をもたらせるか

- 衛星観測に対して、さらに期待すること
- 2050年、衛星観測による情報はどのように利用されているか
- 未来社会はどのように変革しているか

■ 2050年、機関連携の下で新しい価値を創出する。 そのポイントは何か

未来社会デザインにおけるリモートセンシングへの期待

様々な分野における未来社会の設計の下、
リモートセンシング技術に期待する役割を議論し、
連携と新しい価値の創出を描く

パネリストの皆様 ありがとうございました。

公益財団法人イオン環境財団

ANAホールディングス株式会社

株式会社電通

東京海上ホールディングス株式会社

豊田市

山口県

山本 百合子 様

松本 紋子 様

松山 宏之 様

藤木 潤一郎 様

岡田 俊樹 様

喜多 和隆 様